

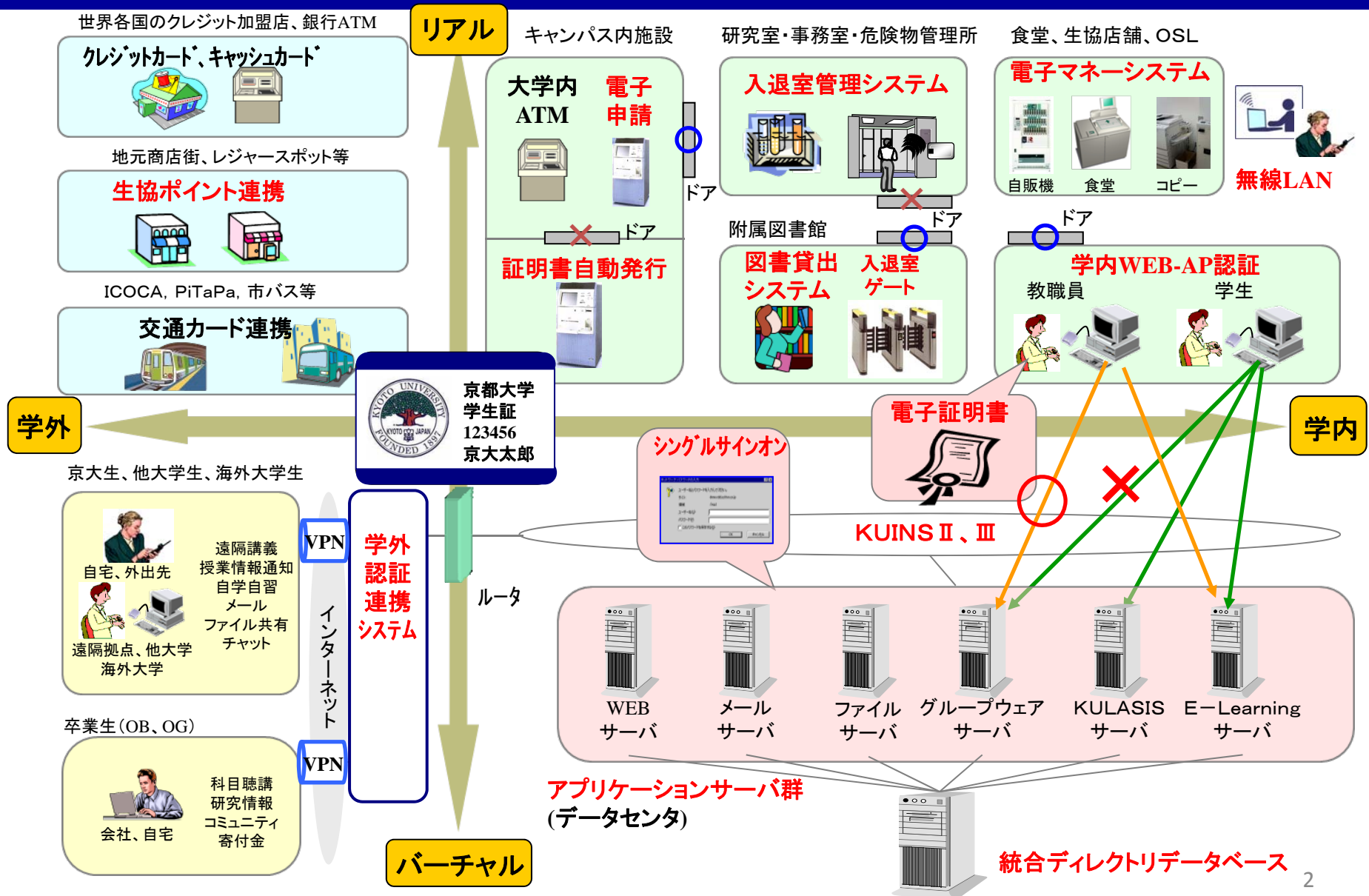
京都大学における 認証基盤構築の取り組み

京都大学学術情報メディアセンター
古村 隆明

UPKIシンポジウム2010
2010/03/12

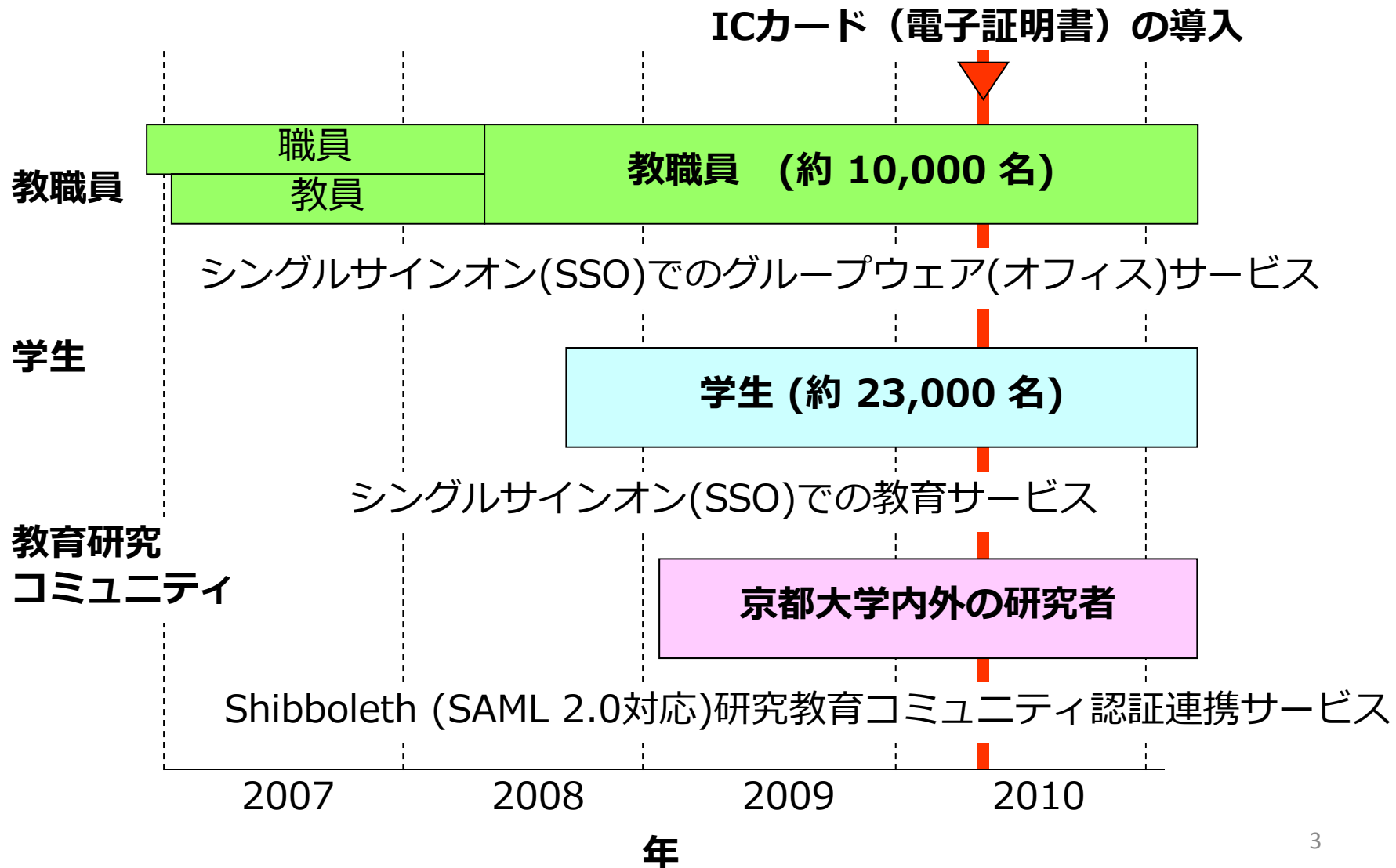


将来の利用イメージ

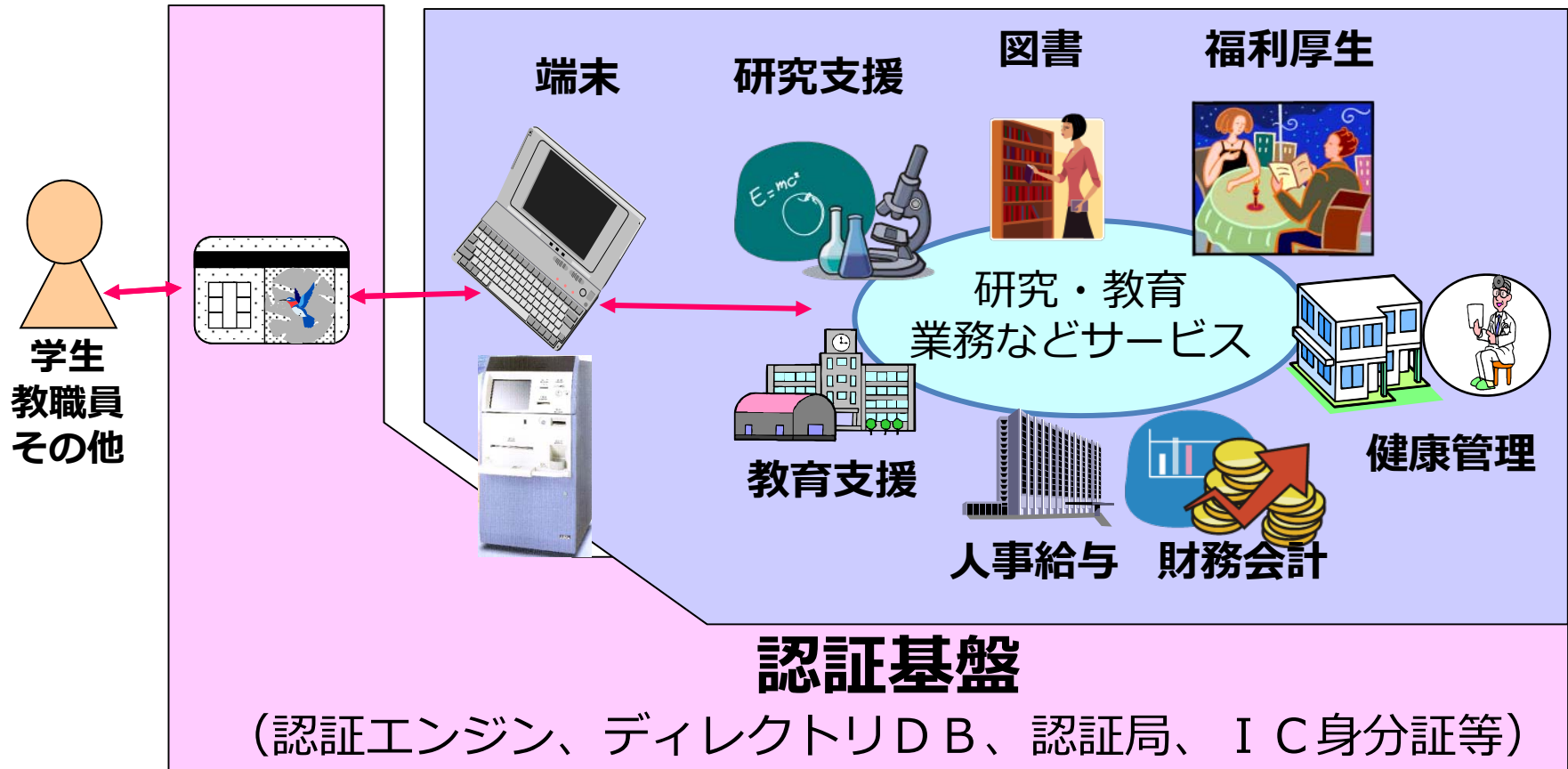




認証基盤構築のロードマップ



認証基盤の位置づけ

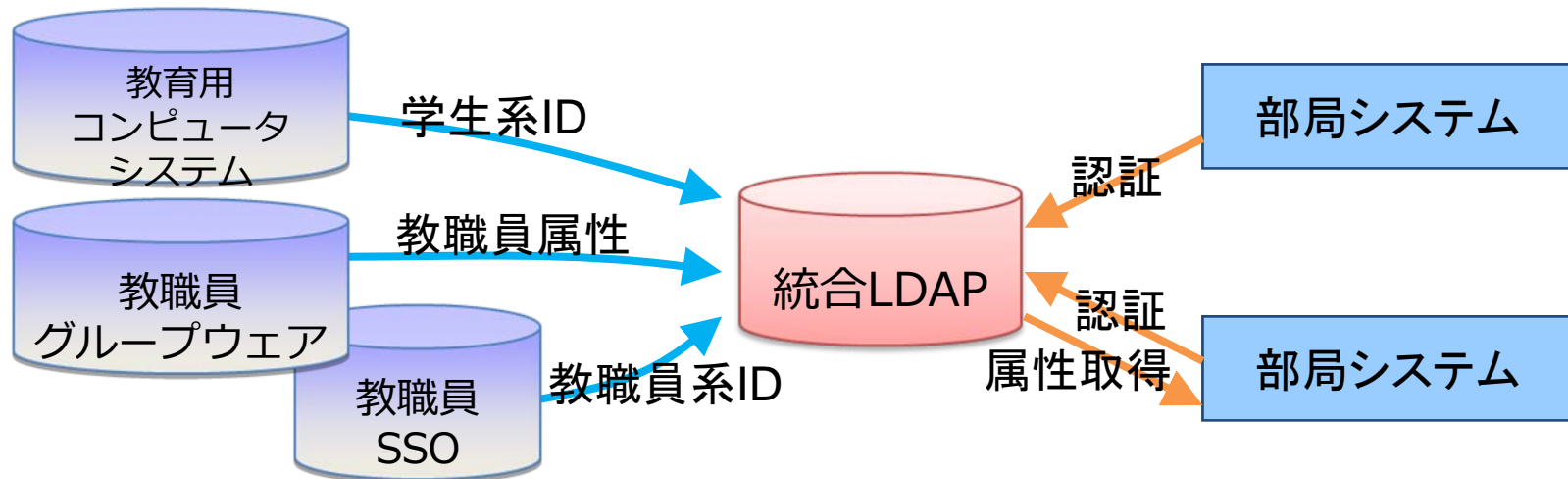


認証基盤は、便利で、安全・安心なキャンパス環境を提供するツール『何ができるか』ではなく、ツールを活用して『何をしたいか』がポイント



学内 統合IDと統合LDAP

- 学内で共通利用できるID導入
 - 学生系ID (例: a00*****)
 - 教職員系ID (例: hanako***kyoudai)
 - 学内統合LDAPでデータ統合
 - 部局からの申請で利用可能





IC身分証等の券面と機能

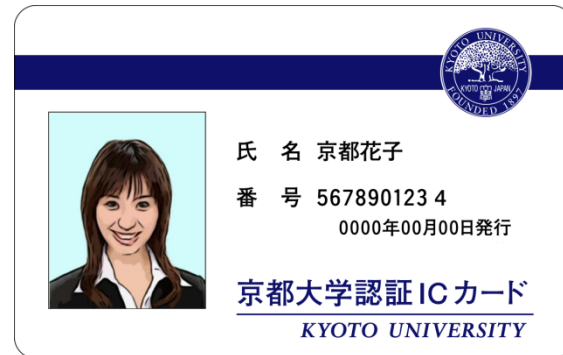


学生(正規生)

約23,000名



役員・常勤教職員



非常勤教職員

約10,000名

券種	機能	接触ICチップ			非接触ICチップ	
		券面 (写真)	磁気 ストライプ	電子証明書 ※1	電子的ID	電子マネー (大学生協)
IC学生証(正規生)		○	○	-	○	○
IC職員証(常勤)		○	○	○	○	○
認証ICカード(非常勤)		○	○	○	○	○
施設利用証(その他)		△	○	-	○	-

(※1) 技術的及びコストの観点から教職員のみ対応。学内プライベート認証局から電子証明書を発行して格納。



非接触ICチップに格納するデータ

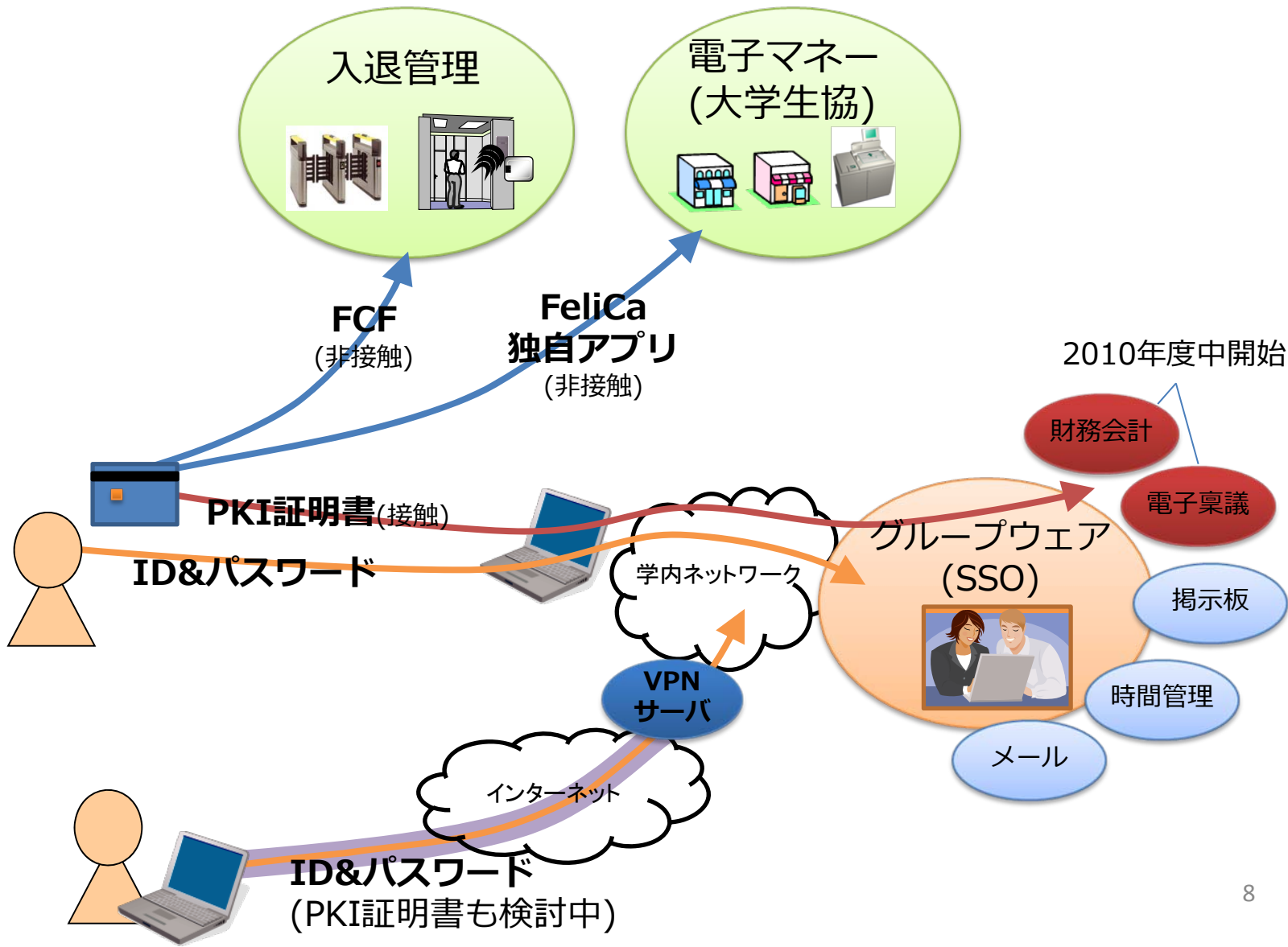
- コード体系は FeliCa Common-use Format (FCF)を採用
 - 将来の他大学との連携
 - 教育機関対応のコード体系
- 格納した基本データ

	内容(バイト数)
基本ID	利用者区分(2)+個人番号(12)+再発行数(1)+性別(1)
カナ氏名	半角カナ氏名(16)
学校識別番号	京都大学識別コード(8)
発行年月日等	発行年月日(8)+有効期限(8)

非接触ICチップにはFCFフォーマットの電子データを格納

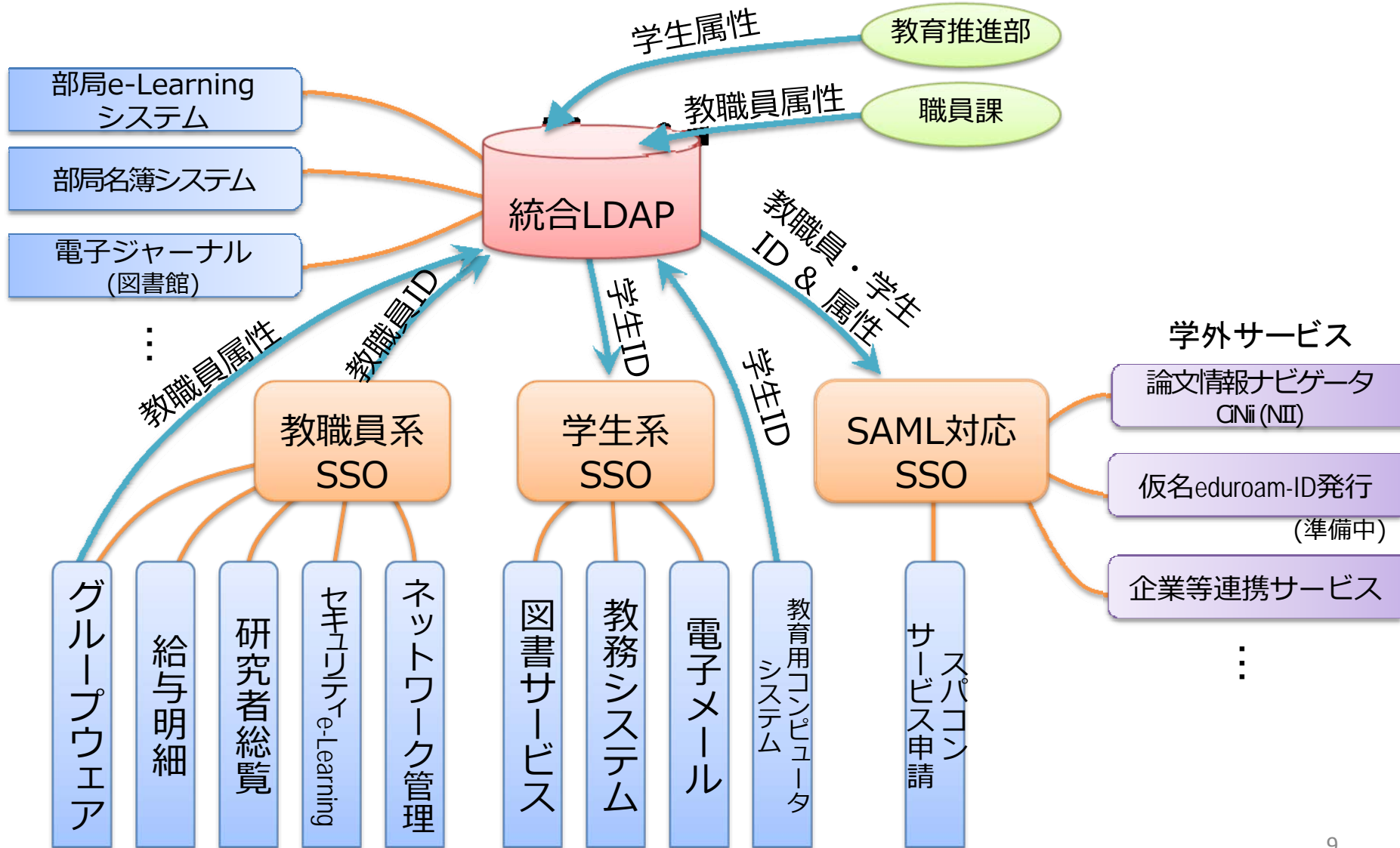


統合ID, IC身分証で利用できるサービス例





認証基盤とシステム間連携





将来の認証基盤とシステム間連携

